

世代を超えた貴重なふれあい



小学生サマースクール「先輩と学ぼう」が8月1日から3日までの3日間、市内7つの会場で行われました。「地域が育て地域で育つ市民参加の教育」の一環として、市内の小学5年生244人が参加。地元出身の大学生や高校生など26人が、各小学校の先生方と一緒に算数の指導にあたりました。

参加した子どもたちからは、「サマースクールでやさしく教えてもらえてうれしかった。」「先輩の先生の体験談で、勉強の大切さがよくわかった。」などの感想が聞かれました。講師を務めた学生からは、「子どもたちとのふれあいは貴重な経験であり、今後自分の夢に結び付けたい。」などの声がありました。

市内の肉用牛が全国大会出場へ



第35回福島県肉用牛共進会が7月21日、本宮市の県家畜市場で開かれ、市内から12人が出場しました。第1区(若雌の1)の部門では、船引町長外路の佐藤巧一さんのまゆみ号(写真左)、第2区(若雌の2)の部門では、船引町永谷の吉田辰男さんのよしくさ109号(写真右)が1等1席に選ばれ、和牛審査競技の部(女性)では、常葉町関本の白石道枝さんが成績優秀者に選ばれました。

3人は10月25日から長崎県佐世保市で開かれる全国和牛能力共進会に県代表として出場します。

親子で楽しいひととき



滝根おはなし会つくしんぼ(代表 橋本真由美さん)が7月29日、滝根公民館で子どもの健やかな成長と家庭での読書活動の推進を目的に「親子ふれあいおはなしの夕べ」を開きました。市内の親子151人が参加。

おはなしおばさん藤田浩子さんのおはなし会やバルーンアート、クラフト教室、わたあめ・ポップコーン・ホットケーキの縁日コーナーが設けられ、子どもたちは思い思いに楽しみました。また、親子で卵焼き・ハム・きゅうりをトッピングして冷やしそうめんを食べるなど、おいしい夕食に子どもたちの顔には笑みがこぼれていました。

二輪車安全運転全国大会で健闘



伊藤翔さん(船引町)が8月4日と5日、三重県鈴鹿市で開催された第45回二輪車安全運転全国大会に出場しました。高校生等クラス(50cc)に福島県代表として出場した伊藤さんは、惜しくも入賞は逃しましたが、第9位と健闘しました。今年は岩手・宮城・福島の被災3県も出場し、全国47都道府県の代表が二輪車の安全運転技術を競いました。

変わらぬ心のふるさと「ふるさと常葉会」



第27回ふるさと常葉会の通常総会が7月22日、東京都中野区の中野サンプラザで開かれ、会員や来賓、地元招待者など約91人が出席しました。総会では、会の開催を2月に変更する規約の改正や「復興支援ふるさと訪問旅行」の計画などを決めました。その後の交流会では、カラオケやフラダンス、「故郷」の合唱、ふるさと会員の太鼓の音にあわせた常葉盆踊りなどで盛り上がりました。会場ではふるさと商品の販売も行われ、会員の皆さんが地元常葉の新鮮野菜やお菓子など、郷土を懐かしみながら買い求めていました。

おいしい『海』を体感



常葉「寿学級」の移動学習が7月10日、いわき方面で行われ、25人が参加しました。

いわきかまぼこ工房の手作り体験では出来立て熱々のかまぼこを、アクアマリンふくしまでは釣ったばかりの魚をから揚げにし、おいしくいただきました。

その他にも小名浜港でのダイクルーズ体験など「海」にちなんださまざまな体験学習を行い、いわきの一日を満喫しました。